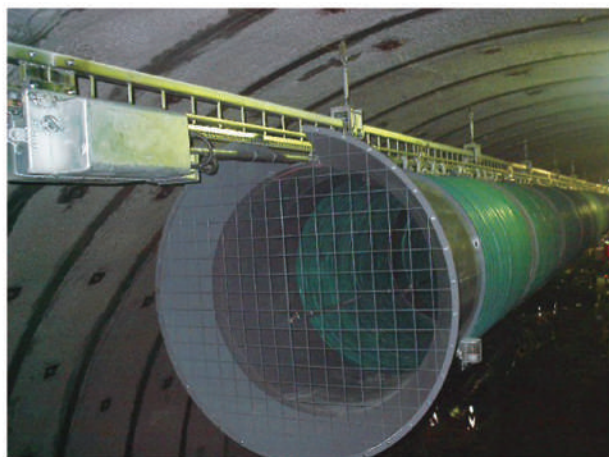


ビッグストローラック（伸縮風管移動システム）

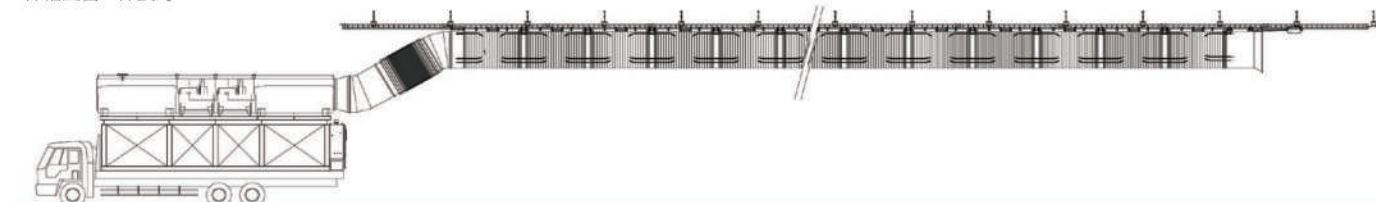
概要



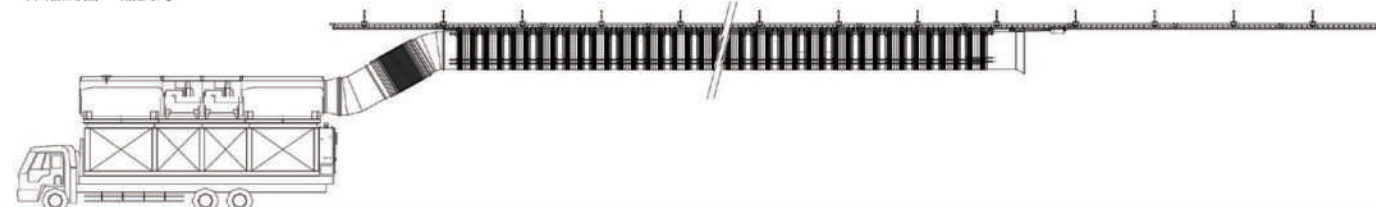
近年のトンネル工事において、掘削やコンクリート吹付時に発生する粉塵に対し、切羽から50m離れた地点の粉塵目標濃度を $2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下にする為の換気対策を行う必要があります。しかしながら、切羽から50m地点に集塵機等の換気設備を設置する事が困難なことが多く、実際には粉塵濃度を $2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下にするのは厳しい現状にあります。そこで、風管本体を伸縮させる事により吸込口を作業に応じた粉塵発生源地点に移動させ、粉塵を直に吸込む事で粉塵濃度を $2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下にする事を可能にした「伸縮風管移動システム」を開発致しました。

主な特徴

伸縮風管 伸長時



伸縮風管 縮長時



- ・トンネル坑内に設置した、排気用送風機及び集塵機に「ビッグストローラック」をセットすることで、トンネル坑内に粉塵が拡散しない。
- ・粉塵発生源地点で、粉塵濃度を $2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下にできることから、換気設備の容量を小さくする事が出来る。

仕様

グラスファイバー仕様リング式ビニール風管	
風管径	φ1500
風管長	伸長時：40～150m
	縮長時：16～60m

ラック式レール	
レール長	60～170m
吊下方法	ターンバックル及びチェーンブロック

駆動車	
駆動方法	ラックピニオン式
動力	3.0kw及び1.5kw及び0.4kw



排気ファンに接続



集塵機に接続